

ノウフク・アワード2023応募用紙(記入例)

1. 応募者の概要(必須)	
名称	(ふりがな)しゃかいふくしほうじんふくふく かいごろうじんほーむ のうふくのいえ 社会福祉法人福福 介護老人ホーム ノウフクの家
所在地 (市町村名まで)	〇〇県△△市
取組主体	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 農林水産業経営体 <input type="checkbox"/> 農林水産業関係団体 <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> 特例子会社 <input type="checkbox"/> 地方自治体 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他()
設立年月日	(西暦) 2012年4月 (設立12年目)
農福連携開始年月日	(西暦) 2020年7月 (開始3年目)
取り組んでいる事業	<input checked="" type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 水産業 <input type="checkbox"/> 加工業 <input type="checkbox"/> 就労継続支援 A 型 <input type="checkbox"/> 就労継続支援 B 型 <input type="checkbox"/> 就労移行支援 <input type="checkbox"/> 生活介護 <input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者介護 <input type="checkbox"/> 中間支援 <input type="checkbox"/> その他()
農福連携の体系図	社会福祉法人福福—介護付有料老人ホーム ノウフクの家 —デイサービスセンター—農福
認定・取得済みの認証等	<input type="checkbox"/> 認定農業者(認定新規就農者を含む) <input type="checkbox"/> 6次産業化認定事業者 <input type="checkbox"/> ノウフク JAS <input type="checkbox"/> 有機 JAS <input type="checkbox"/> GGAP <input type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> その他の GAP <input type="checkbox"/> その他()

2. 活動のきっかけ(必須) ※200 文字程度で記入してください。
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 認知症予防と改善のため、実際に認知症高齢者の方が農作業を行っている施設を訪問し、運動・認知トレーニングや十分な睡眠、社会参加による効果を確認して、認知症予防と改善に向けて農作業を取り入れることとした。 ◆ 当施設では農地を所有していないため、市に相談して、近隣の荒廃農地を借り受け、職員で農地を再生して農作業を開始した。 ◆ 職員には農業の経験がなかったため、県や JA に相談し、近隣の農家を紹介していただき、指導を受けながら、ほうれん草や水菜、トマト、なすの栽培を行った。

3. 取組の具体的内容及び成果(効果)(必須)
<p>※審査基準である①人を耕す、②地域を耕す、③未来を耕すについて、活動内容、時期及びその成果(効果)をそれぞれ 400 字程度で記入してください。(審査基準 URL:)</p> <p>① 人を耕す(工賃や賃金の向上に対する取組、障害者等が管理者や責任者などにステップアップしている事例、一般就労につながった事例、農作業中等の安全管理や健康管理の取組、多様な人々が働くことができる職場環境の創出に関する取組等について記載してください)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 認知症の利用者が、農作業を行い、土や植物に触れることで、介護スタッフに笑顔を見せるようになり、歩行訓練にも積極的になるなど、心身ともに安定し、生活全体の介助量も減少した。 ◆ 当施設の認知症の利用者の中には、昔、農作業をされていた方が多く、農作業をすることにより自分らしさを取り戻し、社会の一員としての自信を取り戻すことができるようになった。 ◆ 腰を屈めなくても農作業が可能のようにレイズベツを導入し、すべての利用者が農作業をできるようにしており、真夏の作業中には日差し除けのテントを張るなど健康管理も適切に行っている。 ◆ 生産した野菜は、当施設が開催する直売会などで販売し、売上金の一部を利用者に分配することで、働く喜びを感じるようになり、生き生きとした生活を送れるようになった。 ◆ これまで家族と接することを避けていた方も、農作業を通じて様々な人と触れ合うことで、家族ともにこやかに接するようになり、明るさを取り戻すようになった。

② 地域を耕す(農福連携を通じた収益性・生産性の向上、地域の伝統野菜や伝統技術の継承、荒廃農地や遊休農地等の解消、地域の祭りやイベントへの参加、直売所やレストラン・カフェの開設、農作業体験や収穫体験などの開催、地域内の異業種との連携等について記載してください)
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 取組当初は、2a の農地で農作業を開始したが、農作業に取り組む利用者が増えたことから新たに近隣の荒廃農地を借り入れ、現在は3a の農地で農作業を行っており、地域の農地の維持に貢献できている。 ◆ 農産物を直売会で販売することで、地域住民との交流が生まれ、介護高齢者への地域の理解が進んでおり、利用者の地域で暮らしやすい環境の創出につながっている。 ◆ 地域の祭りにも参加し、当施設で栽培した農産物を利用者と一緒に販売することで、地域コミュニティの維持にも貢献している。 ◆ 近隣の小学校と幼稚園が農作業体験に訪れ、利用者と共に農作業をすることで、明るい雰囲気が生まれ、共に助け合って生きる共助の一面が見られるようになった。
③ 未来を耕す(先進性・独自性・話題性のある取組、これから農福連携に取り組む団体等の参考となる取組、地域外の異業種との連携、ノウハウ商品の付加価値向上に関する取組、障害者等の目線で農作業の内容を見直すことで作業の効率化につながった事例等について記載してください)
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当施設の取組を県が主催するセミナーで紹介したところ、他の施設からの見学やマスコミ等から取材が増え、地元のローカルニュースで「介護高齢者の農業分野での活躍を通じた新たな農福連携の在り方」として放映された。 ◆ 他県からの講演依頼が増え、講演を通じて当施設の取組を紹介することで、他県でも同様の取組みを始めた介護老人ホームが現れるなど、取組が広がっている。 ◆ 当施設が生産した野菜を学校給食に利用してもらうことで、介護高齢者に対する理解が深まり、高齢者を地域で支えていこうといった雰囲気が生まれている。 ◆ 高齢化等で農業労働力が低下し、農地の継承が難しく荒廃農地が増える中で、介護高齢者が農作業を行う姿は地域農家の励みとなっており、農業指導にボランティアで来ていただくなど交流が広がっている。

4. 活動実績(必須) ※「項目」は、農地面積、荒廃農地の解消、売上高、障害者等の工賃や賃金、農作業に関わる障害者数、交流人口等、取組実績がわかるものについて、項目ごとに取組当初時と直近5年間の推移を表形式で記入してください。								
項目	単位	取組当初	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (見込み)
介護高齢者数	人	12			12	12	12	12
特記事項(任意):								
農地面積	a	2			2	2	3	3
特記事項(任意): 荒廃農地 2a を借りて農業開始、その後 3a に増加								
農産物売上高	円	0			0	13,500	23,300	20,000
特記事項(任意): 農産物の売上金額は増加傾向								

※COVID-19 を原因として減少または減少となる見込みである場合は、実績値に「※」を記入してください。また、COVID-19 連で実績に影響がある場合は、「3. 取組の具体的内容及び成果(効果)」に影響を踏まえた対応や工夫を記入してください。

5. 活動の主な変遷(必須) ※活動の主な変遷について記入してください。						
取組当初	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (見込み)
荒廃農地 2a を借りて農業を開始			荒廃農地 2a を借りて農業を開始	直売所で生産した農産物の販売、学校給食への提供を開始	近隣の小学校や幼稚園と農業体験を通じて交流開始	前年度と同様の活動を行う見込み

6. 今後の展開方向(必須) ※200字程度で箇条書きにて記入してください。

- ◆ 当施設での農作業が軌道に乗りつつあるので、近隣の福祉サービス事業所と連携して、障害者に農作業を手伝ってもらうことを検討中。
- ◆ 農業が認知症などの介護高齢者のリハビリや認知機能の回復などに効果があることがわかったので、大学と連携して、その効果を科学的に明らかにし、全国の介護老人ホームなどに農業を広めていきたい。

7. 取組内容がわかる写真等(必須)

※写真、図表等を貼付し、20文字程度で説明を記入してください。取組内容を代表する写真を必ず3枚以上貼付してください。

※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないように十分注意してください。

※写真等を貼り付ける際は圧縮するなどして、Wordのファイルサイズが5MB以下となるようにしてください。

8. 表彰等の受賞歴(該当があれば記入)

表彰名等(受賞年度)	主催者

--	--

9. 活動に関する PR・エピソード(自由記入、写真、PR動画^④等添付可)(任意)

※600 字程度で記入してください。

--

- ① 記入欄には指定された文字数の範囲内で記入してください(文字の大きさも、当初の設定から変更しないでください)。
- ② ノウフク・アワードは、農福連携の普及啓発を目的に、表彰された取組内容はもちろんのこと、優良な取組事例を全国へ発信することとしており、応募用紙に記載・掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及びノウフクポータルサイト(ノウフク WEB)への掲載並びに地方公共団体への情報提供等(農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など)に使用することがございますので、あらかじめご了承ください。(個人名については公表、使用はいたしません。)
- ③ 提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ④ 「9. 取組に関する PR・エピソード」に PR 動画を添付する場合は、動画共有サイト(YouTube / Vimeo 等)やクラウドストレージサービス(OneDrive / iCloud / Dropbox / Googleドライブ)等にアップロードの上、URL を記入してください。